

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁キッズセンター南		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペースとは言えないが工夫して活動できている	物の配置や片付け等を行い、少しでも広くスペースを取れるよう工夫し、安全に注意して活動している	移転後の事業所は必要なものをそろえ、不要なものを処分し、配置等も検討してうまく使いたい
2	一定数、保護者からの信頼をいただいている。子どもが楽しんで、助かっているというお声をよくちょうだいする	送迎時の申し送りやLINEでの連絡等こまめに、迅速に、丁寧に心をかけている	今後もより一層保護者からの信頼を得られるよう丁寧な対応をしていく。情報共有等もっとこまめにできるよう全職員で対応する
3	楽しみながら学んでいただけるような活動を工夫している	活動することが目的ではなく、活動を通して何を学んでもらうかを考えて提供している。遊びの中で集団行動等を自然と学べるよう支援している。	この1年提供してきた活動を振り返り、学年が上がることも踏まえ、今後の活動をワンランクアップさせて、子どもたちのできることを増やしていけるよう工夫していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員が少ない。他の事業所の助けを借りながらもなんとか事故なく運営を続けている	採用をしてもキャンセルが多い。そもそもの求人が少ない。	離職率は決して高くないと思われるので、求人の仕方の検討も必要
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		緑キッズセンター南			公表日	2025年3月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 定められたスペースで行っている 机など物の配置等工夫している 極力ものを退け広いスペースを確保するよう心がけている できる限り広いスペースを作っている もう少し広さがほしい 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> 送迎の時に人員がとられる時間がある 職員を増やしてほしい 少し少ない 足りない。あとふたりほしい 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ワンフロアで適切 危険のないよう物品の配置等気を付けている 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 清潔、消毒等を付けている 清潔であるがせまい 掃除はしている 個別の場所も工夫されている 人数や活動に対して広さが足りない 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 個室はないが必要な時職員の部屋を使用 現状、パーティションで仕切る以外個別の空間なし 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ミーティング、職員面談を定期的に行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	日々の支援方法等は朝礼、終礼、ミーティング等で共有されている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	週の中で同じ活動がかぶらないようになっている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼で反省共有をしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	連絡帳を書いている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	学校、保育園等と行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	該当者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時にお話している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	・父母の会の開催はわからないが、夏祭り等で異家族同士の交流をはかる ・保護者同士の交流の機会として夏祭りがある
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月お便りを出している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	注して取り扱っている。スマホや写真など
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年に数回訓練をしている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	該当者なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	そのようなことがあったら報告、共有しあう
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	話し合う時間を取っている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束ノートを作成して記入している